

イスラエル 柑橘類出荷量は16万トンに達する見込み

FreshPlaza 2023年11月20日

様々な課題はあるものの、プラネット・イスラエル社の輸出部長であるベサレル・オハナ氏は、イスラエルがこれから迎える柑橘類シーズンについて前向きである(以下「」は同氏の発言)。「2023年のイスラエルの柑橘類の生育期間は、温暖な気温と十分な降雨量が果実の健全な肥大を促し、おおむね好調であった。しかし、残念ながら数週間前にこの地域で始まった戦争の影響で、農業労働力の不足や投入資材コストの上昇など、いくつかの課題が発生している。我々は、今後数週間のうちにこの労働力不足が解消すると信じ、そのために努力している。」

イスラエルでは栽培面積の拡大により、出荷量が過去数年間の平均より少し多くなると予想されている。「これらの課題にもかかわらず、2023年の出荷量は約16万トンに達すると予想されており、これは過去5年間の平均をわずかに上回っている。この増加は、主に近年の柑橘類栽培面積の拡大によるものである。」

オハナ氏は、イスラエル産を有名にしているブランドが柑橘類の需要を維持するのに大いに役立っていることを強調する。「イスラエル産柑橘類に対する需要は現在、国内外ともに強い。果実の高い品質、特徴ある風味により、またヤッファブランドやオッリブランドと関連して、世界中の消費者の間で人気がある。一部の市場は他の市場よりも好調である。ヨーロッパと北米への輸出は特に好調であるが、アジアへの出荷は他の柑橘類生産国との競争の激化によりわずかに減少している。」

オハナ氏は、年末の休暇シーズンが近づくとともに需要がさらに増加すると予想している。「イスラエルで開発された晩生品種のオッリ・マンダリンは、現在最も人気のある輸出向け柑橘であり、出荷量の約65%を占めている。その他の人気のある品種としては、赤肉系グレープフルーツのサンライズ(スタービー)等がある。クリスマスが近づくと、柑橘類、特にマンダリンやクレメンタインなどのソフト柑橘類の需要が急増すると予想される。イスラエルの生産者と輸出業者は、高品質の果実を豊富に供給することができ、この需要を満たすのに有利な立場にある。」

「全体として、イスラエルの柑橘類シーズンの見通しは前向きである。出荷量は十分と見られ、需要は堅調であり、価格と有利な為替レート(ユーロ及び米ドル対新イスラエルシェケル)は比較的安定的に続く予想される。生産者と輸出業者は、これからの休暇シーズンについて楽観的であり、イスラエル産の柑橘類が世界中の消費者の間で人気を保ち続けると確信している。」

執筆者: ニック・ピーターズ

スペイン カキは暴風雨で2級品が増加

FreshPlaza 2023年11月21日

2023/24年度のカキの出荷シーズンは、販売量が回復し、需要と価格が良好であったため、商業レベルで非常に良いスタートを切った。しかし、10月下旬と11月上旬の強風により、やや後退した。グルーボアウトール社(果実生産出荷業者)幹部のマヌエル・バイデス氏は、「今年は樹上脱渋処理をしていないカキが園地で熟すのが大変早かった。すべてが順調に進んでいたが、その後強風で多くのカキ(収穫予定数量の約20%)が落果し、樹上に残ったカキの大部分も視覚的な品質が損なわれた」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

「2級品市場が飽和するのを避け、1級品の果実が影響を受けないようにするため、暴風雨の影響を受けたカキはあまり収穫しないことにしたが、これはまさに過去2週間に起こったことだ。」多くの生産者は、影響を受けた生産物の販売を急いでおり、市場はそれほど大量の2級品を吸収することができなかった。

「これまでのところ、1級品の果実に支払われる価格は当初から非常に良好で、最も評価の高いフルータ・デ・アウトールやロクソなどのブランドは、ヨーロッパ市場で依然として高値を維持している。また、海外市場、特に中東市場においても、販売はこれまで非常に好調である。暴風雨の後、柿市場の状況がどのように展開するかを見たかったので、弊社は活動を少し減速した。」

「弊社は当面、アラブ首長国連邦の市場向けに毎週コンテナを出荷しながら、特に中国市場向けに準備した荷口もあるので中国への輸出開始のゴーサインを待っている。弊社は必要なすべての条件を満たし、関連する検査を済ませたが、なぜスペインの輸出業者にまだ承認が出ないのかわからない。これは、すでに数シーズンにわたって柑橘類の出荷経験がある中国にスペイン産のカキを投入する良い機会となるだろう。中国の取引先は、スペイン産のカキを試してみることを大変楽しみにしている。」